

平成24年1月



担当課	博物館
担当者	太田
電話	423-0003

写真図録『写真にみるあのころの和歌山 —市街電車編（戦前）—』の販売について

第4弾!

和歌山初の市街電車の写真集

和歌山市立博物館では、平成21年（2009）から所蔵の古写真類（写真図録では一部個人所蔵）を公表、紹介するため、写真図録を発行してきました。今回は、本町編、和歌山城編、和歌浦編に続く、第4冊目です。

和歌山市では、明治42年（1909）に初めて和歌山水力電気株式会社の電車が走りました。当時の和歌山県庁前（現西汀丁）から和歌浦間が開通し、その後、路線延長、支線開通などで拡張していきました。これによって和歌山における交通状況が飛躍的に改善され、本町や和歌浦などでは観光客でにぎわい、和歌山の経済発展の一翼を担いました。

和歌山の戦前の市街電車をまとめた古写真集はこれまでなく、貴重な写真が多数掲載されます。「煙の出ぬ汽車」と言われ、市民に慕われた「市電」に思い馳せていただきたく思います。

- 1 名称 『写真にみるあのころの和歌山 —市街電車編（戦前）—』
- 2 内容 和歌山市内を中心に走っていた戦前の市街電車の写真集。下記地域ごとに写真を数枚ずつ紹介。

1 和歌山市駅	2 本町	3 京橋
4 公園前	5 西汀丁	6 真砂丁
7 高松	8 秋葉山	9 和歌浦
10 旭橋	11 紀三井寺	12 浜の宮
13 新和歌浦への分岐線	14 新町線	その他 コラムなど

掲載写真 総計82点

- 3 体裁 A4判、32ページ、モノクロ
- 4 販売価格 500円（消費税分を含む）
- 5 発売日 平成24年（2012）2月1日（水）
- 6 販売場所 和歌山市立博物館（和歌山市民図書館西となり）
- 7 問合せ先 〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 和歌山市立博物館
Tel 073 (423) 0003 / Fax 073 (432) 9040
Mail hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp
HP <http://www.wakayama-city-museum.jp>
- 8 担当 和歌山市立博物館 主任学芸員 太田宏一

※ 写真は別紙掲載

写真図録『写真にみるあのころの和歌山 -市街電車編（戦前）-』の販売について

はなでんしゃ

1. 花電車

和歌山水力電気株式会社による市街電車は、明治42年（1909）県庁前（現西汀丁）と和歌浦間が開通し、その後和歌山市駅と県庁前間、さらに和歌浦と紀三井寺間が次々と開通していった。この写真は和歌山市駅の停留場に停車中の花電車である。スタンプには「和歌山市駅 和歌浦間電車開通記念」とあり、すでに開通していた県庁和歌浦間がさらに延び、市駅県庁間が開通したときの記念写真であることがわかる。電車はヘルマン型の台車を使用し、定員は35人。乗車料金は、市駅和歌浦間で片道12銭、往復20銭だった。



2. 公園前の電車

これは、公園前の停留所に停車している電車とバスを、高島屋百貨店から撮影した写真である。プラットホームには大勢の人々が電車に乗ろうと待ちかまえ、堀の端にはみやげ店などが建ち並んでいる。昭和12年（1934）の撮影。当時、従来の路線に加え東和歌山駅へ通ずる路線も完成しており、公園前はその分岐点となった。北側に本町通りがあり、南側には和歌山城を擁しており、多くの人々が電車に乗ってこの付近を訪れていた。

あさひばし

3. 旭橋を走る電車

それまで木造だった旭橋は、明治42年8月、鉄橋として架けかえられた。同年11月には線路を敷設し、紀三井寺まで開通した。橋長は142間（約256m）。写真をみると、鉄橋となったものの、三断橋の形態は残したままとなっている。電車が和歌浦方面へと走り、山麓には紀三井寺がみえる。なお、計画段階では橋名を和歌浦鉄橋としていたが、結局それまでどおりの旭橋となった。

